別添資料５

令和７年度 あだちっ子歯科健診※実施結果報告書

あだちっ子歯科健診は、全ての年少児（４歳）～年長児（６歳）を対象に、「統一基準」「丁寧な受診勧奨」「結果の集計･分析･フィードバック」をセットに実施している。※　概要はP12へ

令和７年度の実施結果について、以下のとおり報告する。

令和７年度 あだちっ子歯科健診実施結果報告書・目次

１　令和７年度施設参加率と受診率　P1

２　令和７年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】　P2

（１）乳歯にむし歯がある子どもの割合は、全年齢が前年度より減少

（２）未処置のむし歯が５本以上ある子どもの割合は、年長児（６歳）で増加

（３）施設種別･年齢別 未処置のむし歯がある子どもの割合（R5～R7 年度３カ年の比較）

（４）年少児（４歳）の「むし歯ゼロ園」が大きく増加

（５）未通園児等、区外通園児の受診率が増加

３　令和８年度の主な取組　P7

４　指標の進捗状況　P7

５　資料編　P8

１　令和７年度施設参加率と受診率

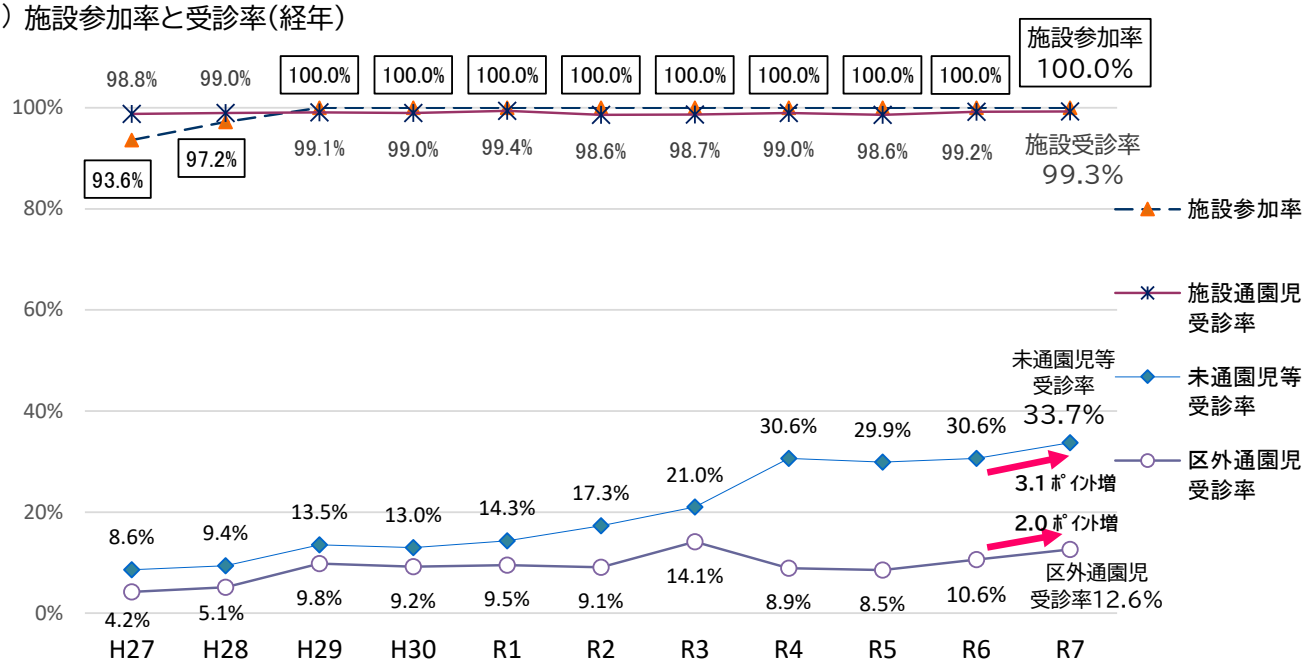
（１）教育・保育施設の参加率は、９年連続１００％（図１）

全２１２施設（前年度－４）で実施し、１２，７８７名（前年度－４８８名）が受診した。

（２）未通園児等の歯科健診受診率が増加（図１）

幼稚園、認定こども園、認可保育園、認証保育所通園児の受診率は９９．３％と微増であった。また、家庭保育又は認可外保育施設、企業主導型保育施設、児童発達支援センター等に通う子ども（以下、「未通園児」という。）の受診率は３３．７％（前年度３．１ポイント増）、区外の教育・保育施設通園児の受診率は１２．６％（前年度２．０ポイント増）といずれも前年度を上回った。

（図1）施設参加率と受診率（経年）

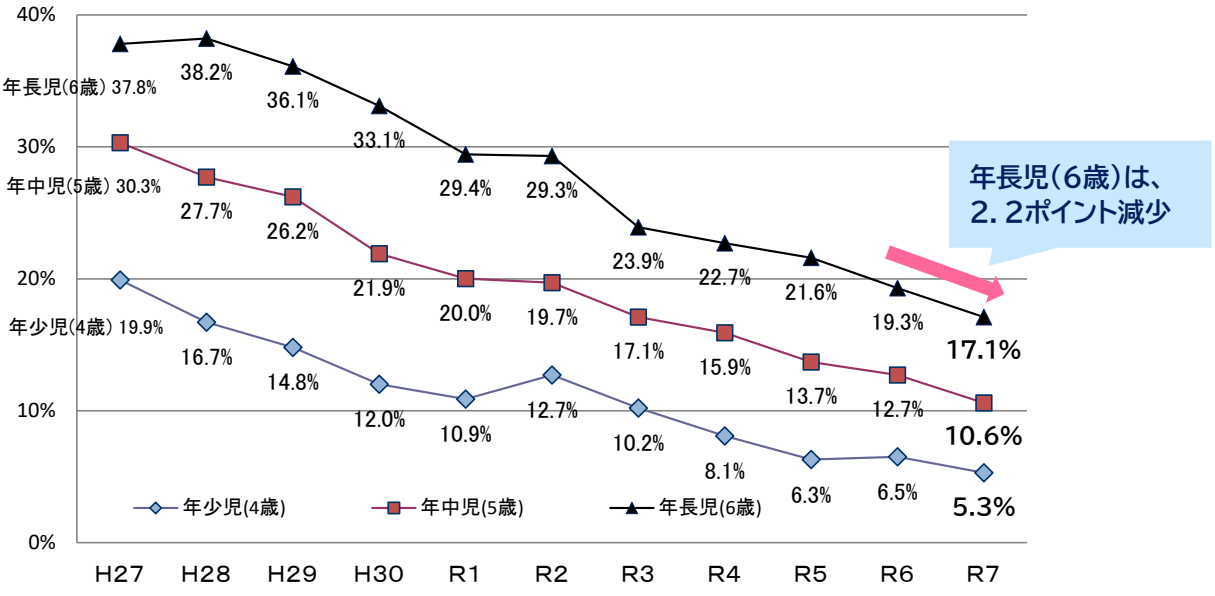


2　令和７年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】

（１）乳歯にむし歯がある子どもの割合は、全年齢が前年度より減少

事業開始当初（Ｈ２７年度）からみると、年長児（６歳）は２０．７ポイント、年中児（５歳）は１９．７ポイント、年少児（４歳）は１４．６ポイントと、大きく減少している。

（図2）乳歯にむし歯がある子どもの割合（むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む）

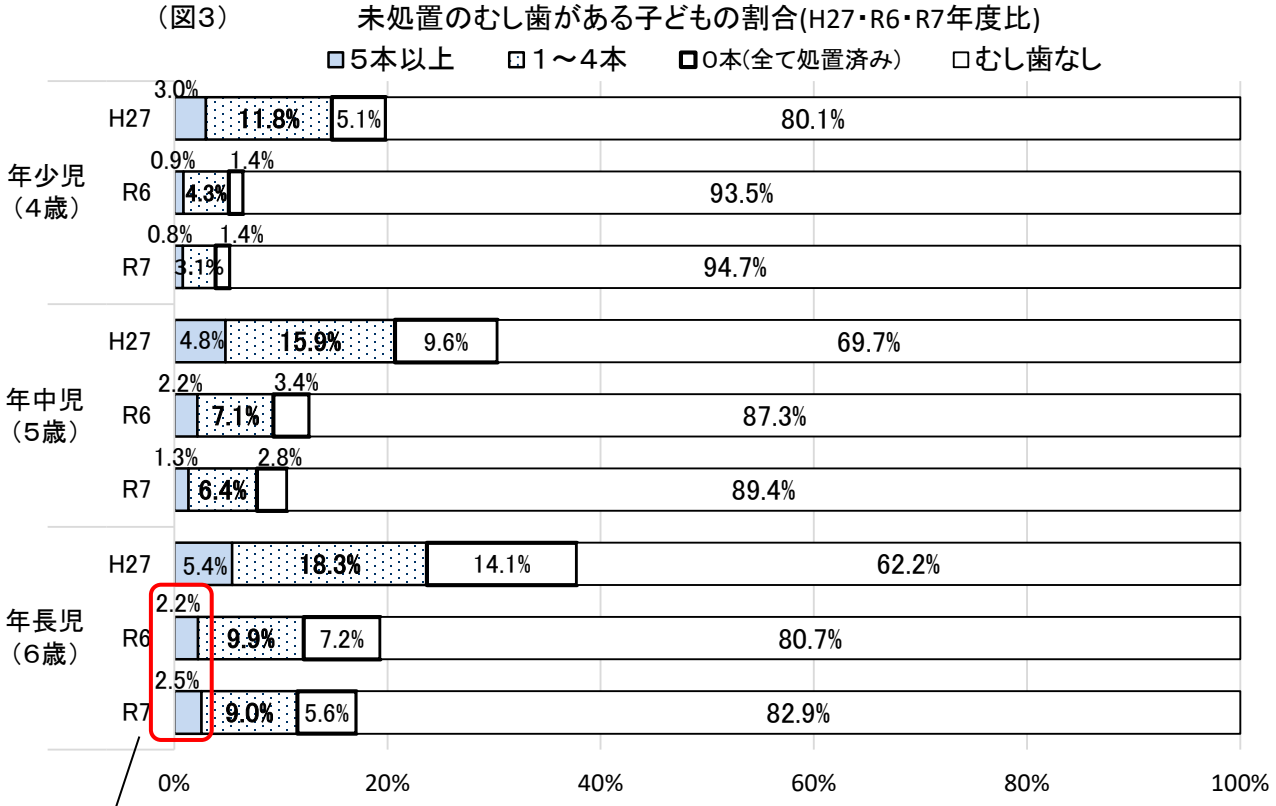


※　令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため秋に歯科健診を実施

（２）未処置のむし歯が５本以上ある子どもの割合は、年長児（６歳）で増加

未処置のむし歯が５本以上ある子どもの割合は、平成２７年度から半減しているが、前年度との比較では、年長児（６歳）が０．３ポイント増加している。

（図3）　未処置のむし歯がある子どもの割合(H27・R6・R7年度比)

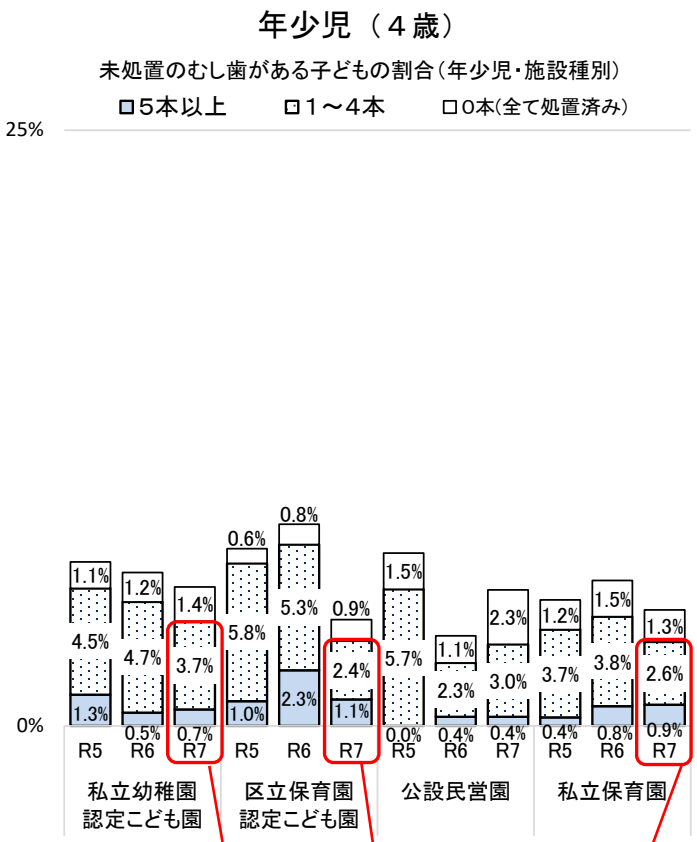


「未処置のむし歯が５本以上ある子どもの割合」は、
年長児のみ、前年度より増加している。

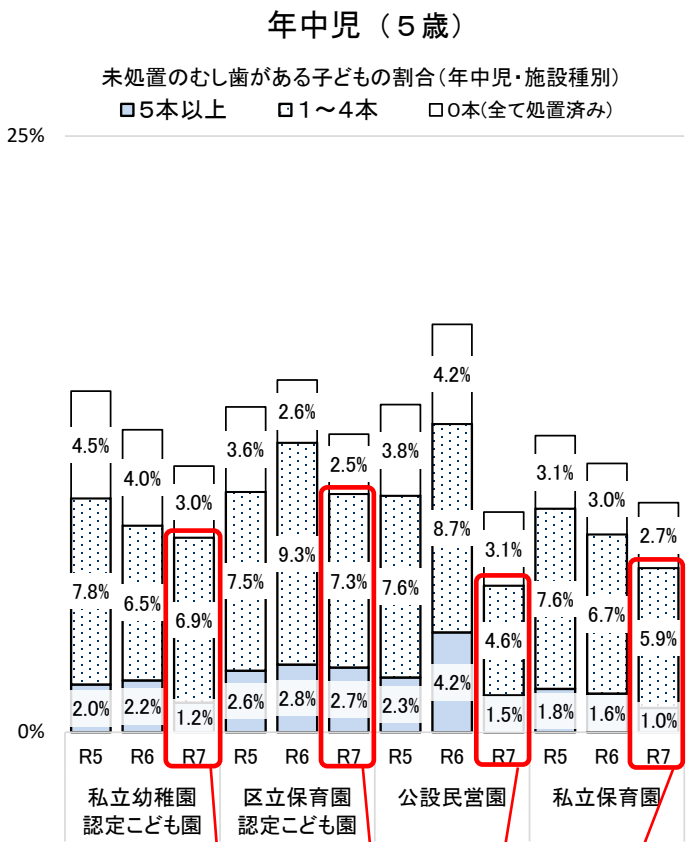
（３）施設種別・年齢別 未処置のむし歯がある子どもの割合（R5、R6、R7 年度３カ年の比較）

年齢別・施設種別「未処置のむし歯がある子どもの割合」は、年少児（４歳）、年中児（５歳）は概ね減少しているが、年長児（６歳）は一部で増加している。

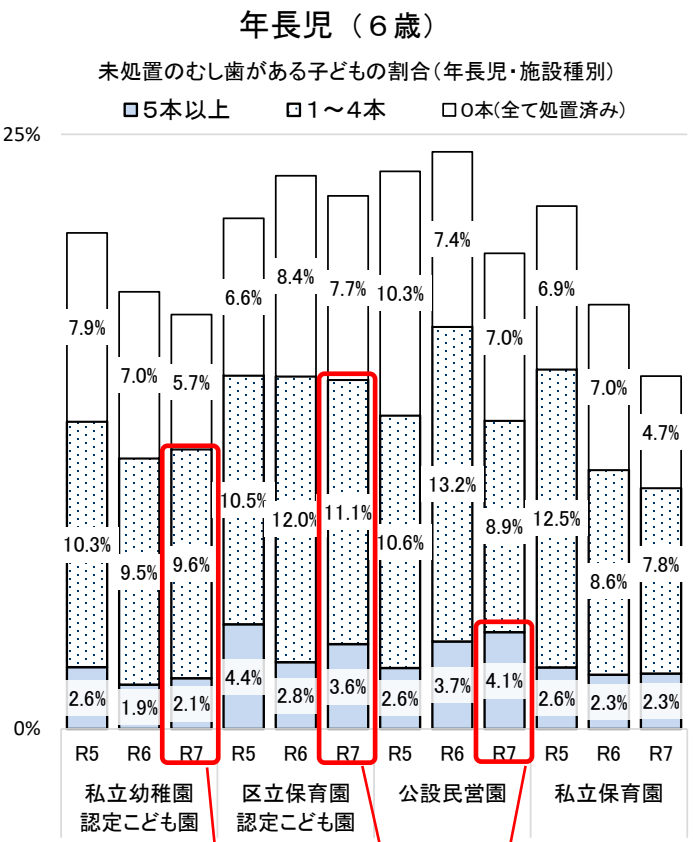
（図４）施設種別・年齢別 未処置のむし歯がある子どもの割合



年少児
私立幼稚園・区立園・私立保育園は減少
特に、**区立園は 4.1 ポイント減少している。**



年中児
全ての施設種別で減少
５本以上未処置のむし歯がある子の割合も**減少した。**

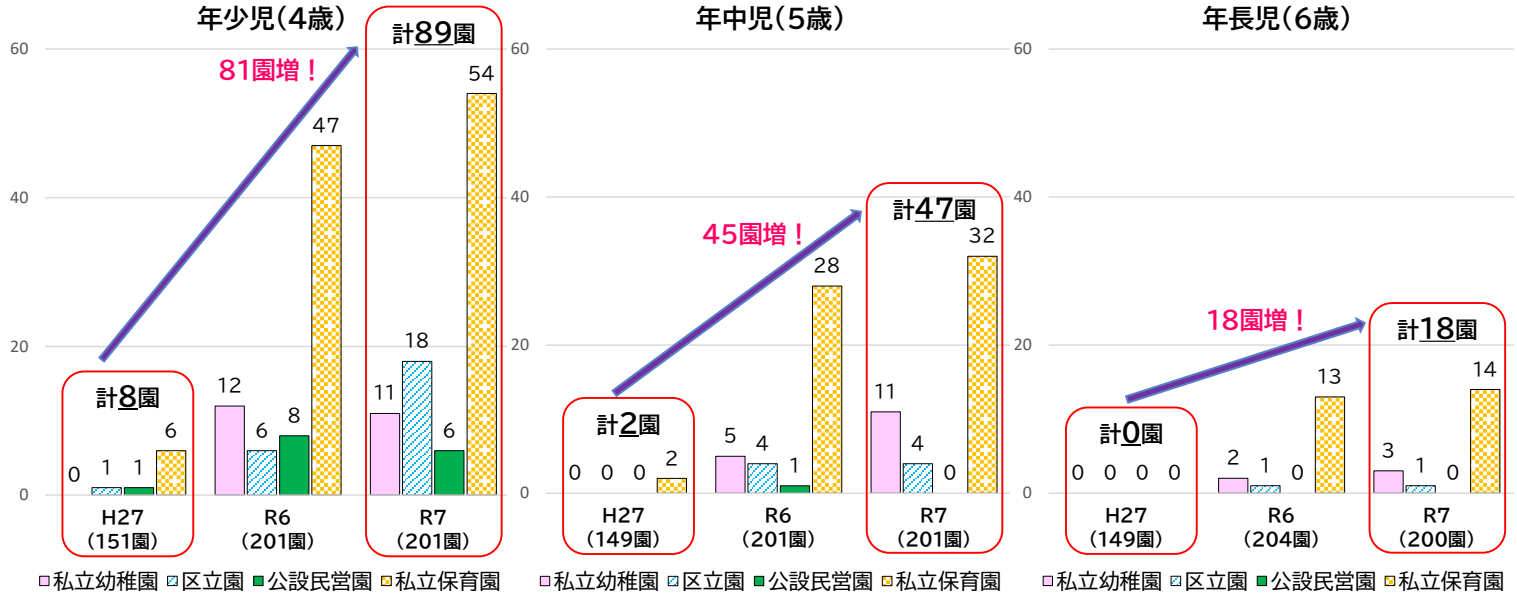


年長児
私立幼稚園が増加、区立園は横ばい
未処置のむし歯が５本以上ある子の割合は、**私立幼稚園・区立園・公設民営園で増加している。**

（4）年少児（４歳）の「むし歯ゼロ園」が大きく増加

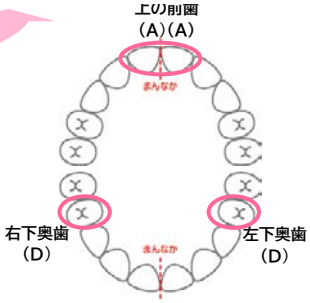
むし歯（処置済含む）がある子どもがいない「むし歯ゼロ園」は、年少児（４歳）、年中児（５歳）、年長児（６歳）ともにあだちっ子歯科健診を開始した平成２７年度より増加している。年中児以降に新たに増えるむし歯は、「上の前歯」「下の奥歯」となっている。

（図５）年齢別「むし歯ゼロ人」の園数



年中児で新たに増えたむし歯の部位
１位 **右上前歯（A）**
２位 **左上前歯（A）**

年長児で新たに増えたむし歯の部位
１位 **左下奥歯（D）**
２位 **右下奥歯（D）**

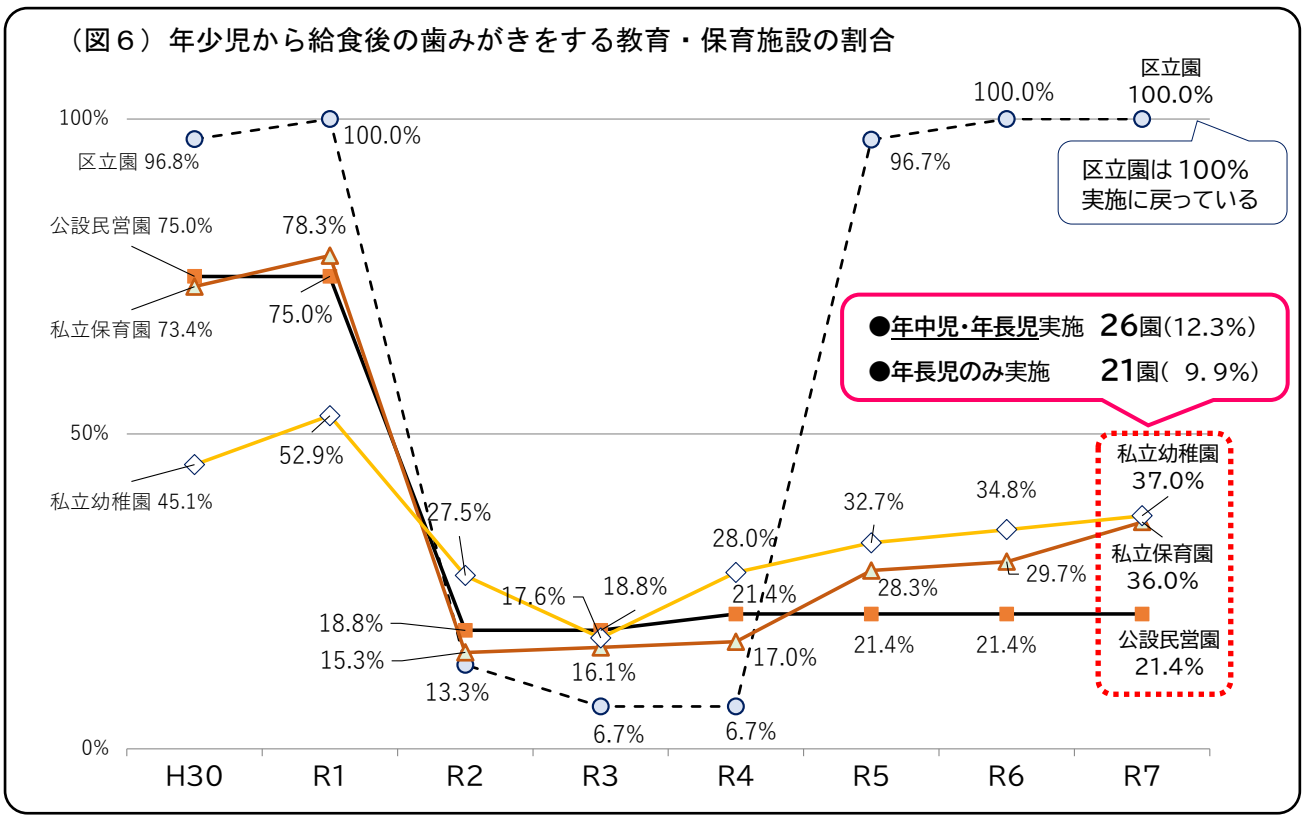


むし歯になりやすい歯を守り、「むし歯ゼロ園」の増加を目指します！

【参考】年少児から給食後の歯みがきをする教育・保育施設の割合

私立幼稚園は２．２ポイント、私立保育園は６．３ポイント増加している。

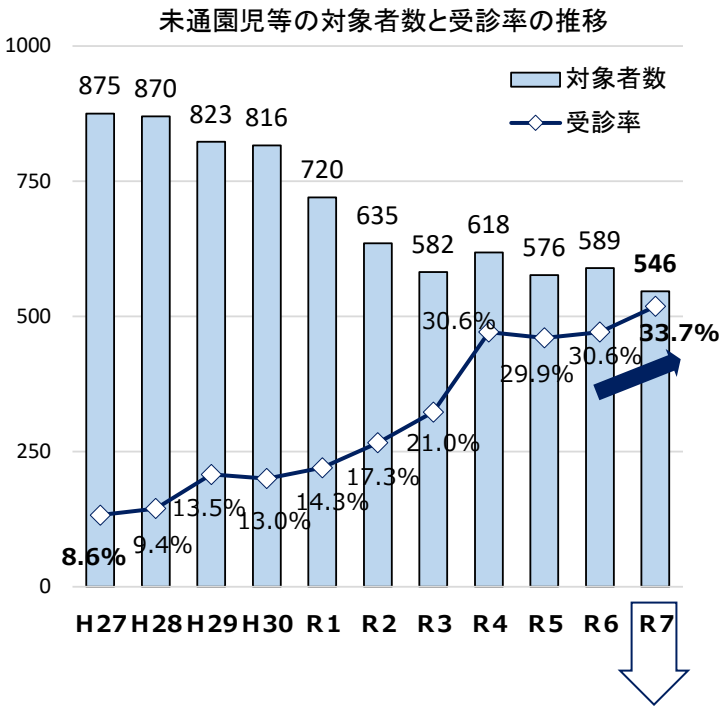
（図６）年少児から給食後の歯みがきをする教育・保育施設の割合

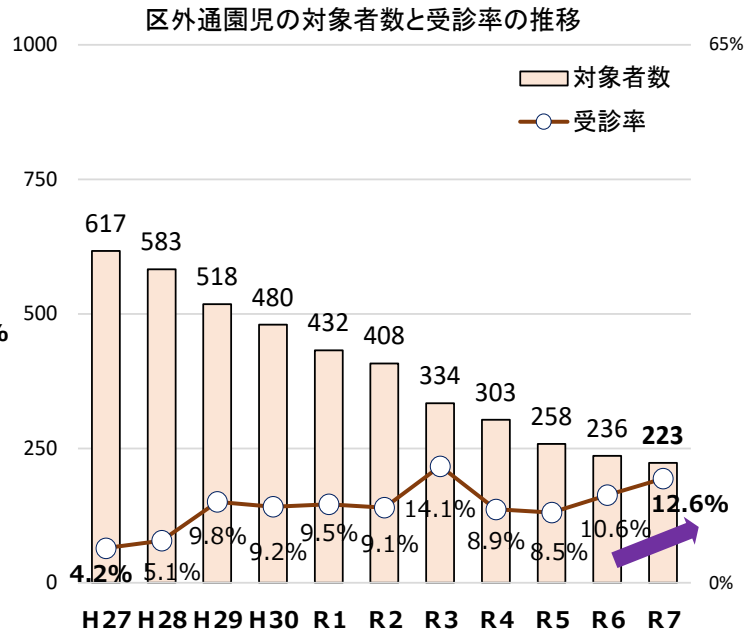


（5）未通園児等・区外通園児の受診率が増加

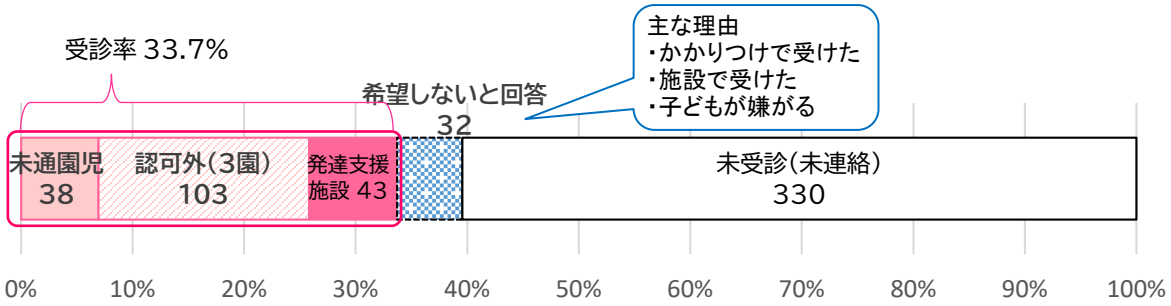
認可外保育施設３園(R4～)および発達支援施設(R6～)に歯科医師が赴いて歯科健診を実施することにより未通園児等の受診率が向上した。加えて、令和７年度は、ご案内等の送付物を変更し、区外通園児ともに受診率の向上につなげている。

(図7)未通園児および区外通園児の受診率





（図８）令和７年度未通園児等受診者内訳および受診を希望しないと回答した人数



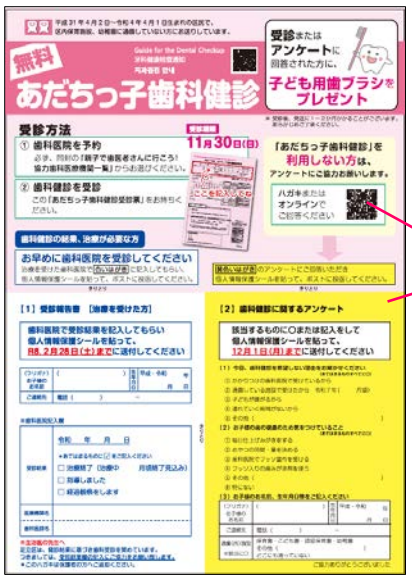
（図９）令和７年度郵送物

【封筒】



【外国語対応】
英語
中国語
韓国語

【ご案内】



「受診を希望しない方」へ
オンラインまたはハガキ
(キリトリ線で切りとる)で
連絡をお願いしています。

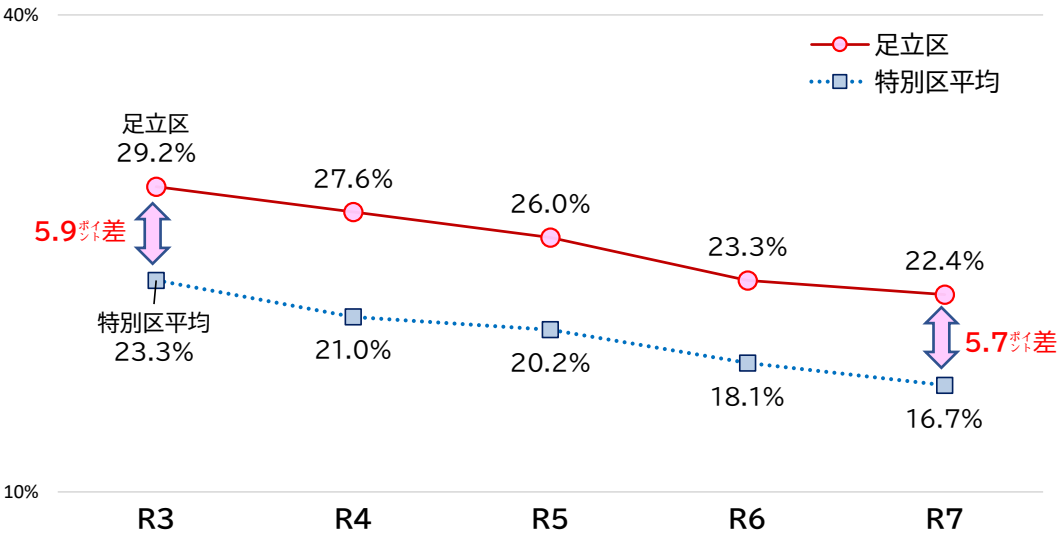
（表１）【参考】特別区のむし歯がある小学１年生の割合

令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
練馬区	17.6%	千代田区	15.2%	墨田区	15.9%	品川区	12.5%	品川区	11.7%
目黒区	17.9%	品川区	15.9%	練馬区	16.5%	文京区	14.0%	練馬区	12.4%
品川区	18.2%	目黒区	16.2%	目黒区	16.8%	練馬区	14.4%	墨田区	13.0%
千代田区	18.3%	練馬区	16.2%	品川区	17.1%	千代田区	14.7%	目黒区	13.5%
中野区	19.0%	北区	17.7%	千代田区	17.2%	目黒区	14.7%	世田谷区	13.8%
文京区	19.9%	世田谷区	18.7%	中央区	17.7%	世田谷区	14.9%	中央区	13.8%
世田谷区	20.4%	中野区	18.7%	世田谷区	18.1%	北区	15.1%	中野区	14.0%
墨田区	21.0%	杉並区	19.6%	文京区	18.9%	墨田区	15.6%	千代田区	15.1%
中央区	21.1%	文京区	20.1%	板橋区	19.2%	中央区	15.8%	北区	15.5%
杉並区	23.1%	墨田区	20.3%	北区	19.3%	中野区	16.6%	文京区	16.0%
港区	23.1%	江東区	20.8%	杉並区	19.3%	江東区	17.2%	杉並区	16.2%
板橋区	23.3%	中央区	20.9%	江東区	19.4%	新宿区	17.4%	**特別区平均**	**16.7%**
北区	23.3%	**特別区平均**	**21.0%**	豊島区	19.5%	板橋区	17.4%	板橋区	17.0%
特別区平均	**23.3%**	豊島区	21.1%	大田区	20.0%	**特別区平均**	**18.1%**	大田区	17.1%
江東区	23.7%	大田区	21.5%	中野区	20.2%	豊島区	18.9%	江東区	17.3%
豊島区	24.4%	港区	21.6%	**特別区平均**	**20.2%**	杉並区	18.9%	豊島区	17.9%
大田区	25.1%	台東区	21.7%	港区	21.5%	大田区	19.1%	渋谷区	18.5%
荒川区	25.3%	新宿区	21.7%	荒川区	22.2%	港区	19.6%	台東区	18.6%
台東区	25.9%	江戸川区	23.8%	台東区	22.2%	台東区	21.0%	荒川区	19.0%
渋谷区	26.0%	板橋区	23.8%	渋谷区	23.1%	渋谷区	22.2%	江戸川区	19.9%
江戸川区	26.9%	渋谷区	24.1%	江戸川区	23.3%	江戸川区	23.2%	港区	20.1%
新宿区	27.9%	葛飾区	25.1%	葛飾区	24.7%	**足立区**	**23.3%**	新宿区	20.3%
足立区	**29.2%**	荒川区	26.0%	**足立区**	**26.0%**	葛飾区	23.6%	葛飾区	21.1%
葛飾区	30.3%	**足立区**	**27.6%**	新宿区	26.0%	荒川区	24.3%	**足立区**	**22.4%**

出典：東京都の学校保健統計書より

23 位(３年ぶり)

（図１０）　令和3～7年度 むし歯がある小学1年生の割合(特別区平均との比較)



3　令和８年度の主な取組【子ども家庭部、衛生部が連携して取り組む】

課題	対策
（１） 「歯科口腔保健」の取組内容が、教育・保育施設により差が生じている（「歯科保健の取り組みアンケート」より）	ア　**【強化】「はみがきチャレンジカード」の作成・配付** 歯みがき習慣はレジリエンスの向上にも影響する※1 ことから、全ての年少児以上を対象に歯みがきカードを配付し、朝・夜の歯みがき習慣の定着を図る。 ※1　第２期第１回 子どもの健康生活実態調査報告書(概要版) イ　**【強化】教育・保育施設の取組を支援** **「年少児から給食後の歯みがき実施」**並びに、歯によいおやつ・よく噛む習慣づくりに取り組む教育・保育施設を増やす。 ウ　**【拡充】園歯科医事業(区立保育園１７園)の推進** 足立区歯科医師会と連携し、「あだちっ子・園歯科医事業」の円滑な運営並びに区立保育園における取組の質・量の向上を図る。 また、令和９年度全園展開に向けて歯科医師会と調整を進めていく。
（２） 歯みがき習慣の定着やむし歯になりにくいおやつの周知が十分でない	ア　**【新規】「歯みがき・おやつ・フッソ」啓発リーフレットの作成** 教育･保育施設が取組に活用できるリーフレットを作成･配付する。 イ　**【新規】ぶくぶくうがい練習用媒体の作成** ２歳頃から活用できるぶくぶくうがいの媒体を作成・配付する。
（３） 未通園児等における受診率が低く、「受診を希望しないハガキの返信率」も低い	ア　**【見直し】受診期間の延長** 保護者が利用しやすいよう受診期間を１ヶ月延ばし、約３ヶ月半とする。 イ　**【見直し】案内等送付物の記載内容を見直す** 保護者が「歯科健診受診」又は「受診を希望しないハガキの返信」のいずれかを選択できるよう、送付物を簡略化する。

4　指標の進捗状況

（表2）

		６年度実績 (2024 年度)	**７年度実績 (2025 年度)**	R8 年度 目標値等	Ｒ１７年度 目標値等
① あだちっ子歯科健診受診率向上	施設内健診 未通園児等	99.2% 24.8%	**99.3% 27.6%**	99.5% 29%	100% 50%
② 受診(治療)報告書提出率	施設内健診 未通園児等	75.1% 72.9%	**74.7% 71.7%**	77% 74%	90% 80%
③ むし歯がない子どもの割合	年長児	80.7%	**82.9%**	83.5%	85%
	小学１年生	76.7%	**77.6%**	79%	85%
④ 年少児クラスから給食後の歯みがきに取組む園の割合	教育･保育施設の割合	39.9%	**43.9%**	47.2%	(R11) 90%

－資料編－

1　令和７年度あだちっ子歯科健診の実施結果

（1）参加状況及び実施時期

区内の教育・保育施設に通っていない子ども(以下、「未通園児等」という)に個別に通知を発送している。令和４年度から、未通園児の受診率向上策として、認可外保育施設で歯科健診を開始した。

（表３）

	施設数	参加数	**参加率** (R６年度)	実施時期	備考
私立幼稚園･認定こども園	46	46	**100%** (100%)	令和７年５月～７月	
区立保育園･認定こども園	30	30	**100%** (100%)		
公設民営園	14	14	**100%** (100%)		
私立保育園	111	111	**100%** (100%)		
認証保育所	11	11	**100%** (100%)		年少児以上が在籍する施設
未通園児等	基準日 R7.9.1 に対象者抽出			令和７年９月～１１月	個別通知による勧奨
	認可外保育施設(3 園)通所児			令和７年５月～７月	R4 年度開始
	発達支援施設(1 施設)通所児			令和７年９月～１１月	R6 年度開始

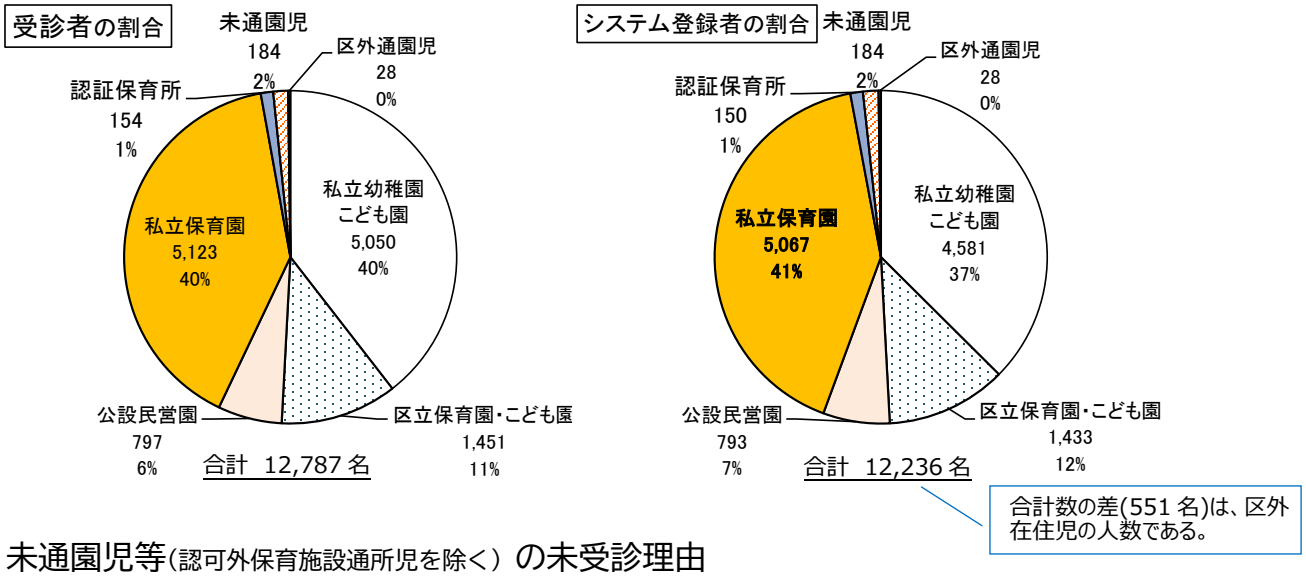
（2）受診状況【各施設からの集計報告による実績値】

（表４）　　※　施設通園児の在籍者は、区外在住者を含む。

		年少児(４歳)		年中児(５歳)		年長児(６歳)		合計(人数)		
		在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者 (R6 年度)	受診者 (R6 年度)	**受診率** (R6 年度)
私立幼稚園 認定こども園		1,619	1,607	1,703	1,683	1,779	1,760	5,101 (5,423)	5,050 (5,360)	**99.0%** (98.8%)
区立保育園 認定こども園		463	458	497	486	510	507	1,470 (1,546)	1,451 (1,525)	**98.7%** (98.6%)
公設民営園		265	264	263	260	276	273	804 (814)	797 (812)	**99.1%** (99.8%)
私立保育園		1,732	1,727	1,704	1,703	1,701	1,693	5,137 (5,235)	5,123 (5,213)	**99.7%** (99.6%)
認証保育所		57	57	47	47	50	50	154 (160)	154 (160)	**100.0%** (100.0%)
施設通園児　計		**4,136**	**4,113**	**4,214**	**4,179**	**4,316**	**4,283**	**12,666** (13,178)	**12,575** (13,070)	**99.3%** (99.2%)
未通園児等	未通園児	199	75	168	50	179	59	546 (589)	184 (180)	**33.7%** (30.6%)
	(再掲)認可外保育施設通所	41	41	34	31	31	31	106 (87)	103 (85)	**97.2%** (97.7%)
	(再掲)発達支援施設通所	14	14	9	9	20	20	43	43	**100.0%**
	区外通園児	71	11	73	8	79	9	223 (236)	28 (25)	**12.6%** (10.6%)
合計 (R6 年度)		**4,406** (4,469)	**4,199** (4,223)	**4,455** (4,578)	**4,237** (4,328)	**4,574** (4,956)	**4,351** (4,724)	**13,435** (14,003)	**12,787** (13,275)	
受診率 (R6 年度)			**95.3%** (94.5%)		**95.1%** (94.5%)		**95.1%** (95.3%)			**95.2%** (94.8%)

受診者の割合は、私立幼稚園・私立保育園が各４０％で全体の８割を占める。一方、歯科健診データ登録者数（区内在住者※P10(4)）は、私立保育園が４１％と最多、次いで私立幼稚園が３７％となっている。

（図１１）受診者および保健衛生システム登録者の割合



（３）未通園児等(認可外保育施設通所児を除く）の未受診理由

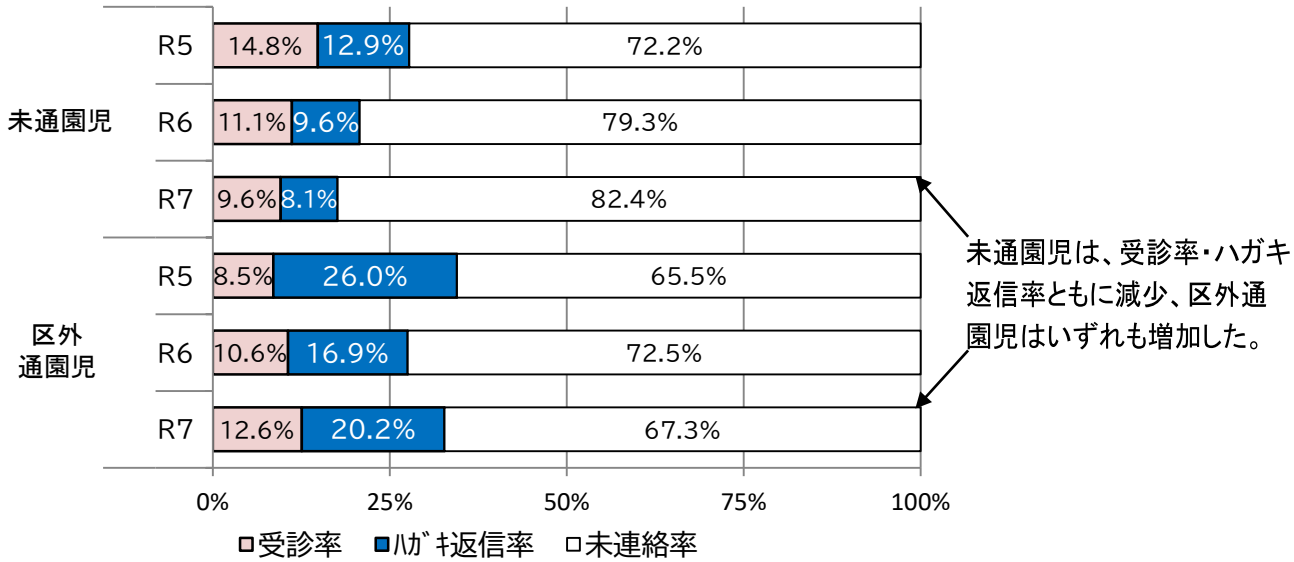
歯科健診の個別通知にアンケートハガキを同封し、健診を希望しない理由等を調査している。令和７年度は、未通園児の８．１％、区外通園児の２０．２％から返信があった。

希望しない理由(複数回答可)は、「かかりつけの歯科医院で受けている」「通っている施設で受けた」の順に多くなっている。

（表５）

	対象者 (R6 年度)	歯科健診受診		未受診			
				希望しないハガキ		未連絡	
		受診者 (R6 年度)	受診率 (R6 年度)	返信数 (R6 年度)	返信率 (R6 年度)	人数 (R6 年度)	割合 (R6 年度)
未通園児 (認可外を除く)	397 (458)	38 (51)	9.6% (11.1%)	32 (44)	8.1% (9.6%)	327 (363)	82.4% (79.3%)
区外通園児	223 (236)	28 (25)	12.6% (10.6%)	45 (40)	20.2% (16.9%)	150 (171)	67.3% (72.5%)
合計	620 (694)	66 (76)	10.6% (11.0%)	77 (84)	12.4% (12.1%)	477 (534)	76.9% (76.9%)

（図１２）歯科健診を希望しない割合（ハガキ返信率）



（4）「足立区保健衛生システム」登録数

受診者のうち、区内在住児の結果を「足立区保健衛生システム」に登録し、分析を行った。システム登録者数は１２，２３６名で、全受診者の９５．７％であった。

（表６）　※　受診者には区外在住児もいるため、受診者数と登録者数は一致していない。

	年少児（４歳）		年中児（５歳）		年長児（６歳）		システム登録人数合計	
	受診者 (R6 年度)	登録者 (R6 年度)	受診者 (R6 年度)	登録者 (R6 年度)	受診者 (R6 年度)	登録者 (R6 年度)	受診者 (R6 年度)	登録者 (R6 年度)
人数	**4,199** (4,223)	**4,019** (4,038)	**4,237** (4,328)	**4,060** (4,116)	**4,351** (4,724)	**4,157** (4,499)	**12,787** (13,275)	**12,236** (12,653)
登録率	**95.7%** (95.6%)		**95.8%** (95.1%)		**95.5%** (95.2%)		**95.7%** (95.3%)	

（5）歯科健診分析結果（足立区保健衛生システムに登録した子どもの歯科健診結果）

ア　乳歯にむし歯がある子どもの割合（年齢別）

令和７年度の結果、乳歯にむし歯がある子どもの割合は、全年齢で減少した。

（表７）　むし歯がある子どもの割合

	年少児（４歳）			年中児（５歳）			年長児（６歳）		
	受診者	むし歯有	**有病率**	受診者	むし歯有	**有病率**	受診者	むし歯有	**有病率**
平成２８年度	4,925	823	**16.7%**	5,086	1,408	**27.7%**	4,983	1,903	**38.2%**
平成２９年度	4,868	719	**14.8%**	5,058	1,324	**26.2%**	5,134	1,854	**36.1%**
平成３０年度	4,945	591	**12.0%**	4,926	1,080	**21.9%**	5,057	1,672	**33.1%**
令和元年度	4,922	536	**10.9%**	5,004	1,001	**20.0%**	4,939	1,453	**29.4%**
令和２年度	4,606	587	**12.7%**	4,896	965	**19.7%**	4,981	1,457	**29.3%**
令和３年度	4,575	465	**10.2%**	4,633	794	**17.1%**	4,920	1,175	**23.9%**
令和４年度	4,444	360	**8.1%**	4,547	722	**15.9%**	4,634	1,051	**22.7%**
令和５年度	4,088	259	**6.3%**	4,448	608	**13.7%**	4,518	976	**21.6%**
令和６年度	**4,038**	**262**	**6.5%**	**4,116**	**522**	**12.7%**	**4,499**	**870**	**19.3%**
令和７年度	**4,019**	**211**	**5.3%**	**4,060**	**430**	**10.6%**	**4,157**	**711**	**17.1%**

イ　乳歯にむし歯がある子どもの割合（施設種別）

施設間の最大値と最小値の差は、年少児が１．３ポイント、年中児３．３ポイント、年長児７．６ポイントと、年長児の差が拡大している。

（表８）※　認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計は含む）。

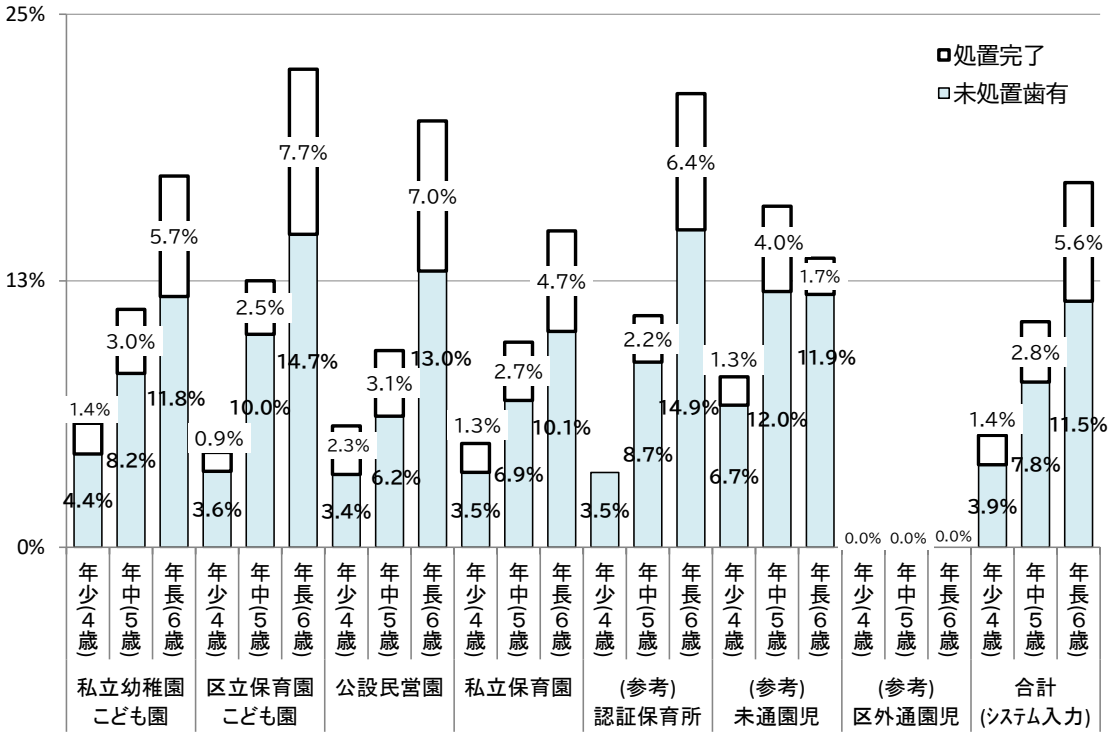
	年少児（４歳）			年中児（５歳）			年長児（６歳）		
	受診者	むし歯有	**有病率** (R6 年度)	受診者	むし歯有	**有病率** (R6 年度)	受診者	むし歯有	**有病率** (R6 年度)
私立幼稚園 認定こども園	1,459	85	**5.8%** (6.4%)	1,532	171	**11.2%** (12.7%)	1,590	277	**17.4%** (18.4%)
区立保育園 認定こども園	449	20	**4.5%** (8.5%)	480	60	**12.5%** (14.8%)	504	113	**22.4%** (23.3%)
公設民営園	263	15	**5.7%** (3.8%)	260	24	**9.2%** (17.1%)	270	54	**20.0%** (24.3%)
私立保育園	1,705	83	**4.9%** (6.1%)	1,684	162	**9.6%** (11.3%)	1,678	249	**14.8%** (17.8%)
(参考)認証保育所	57	2	**3.5%** (11.7%)	46	5	**10.9%** (14.3%)	47	10	**21.3%** (28.3%)
(参考)未通園児	75	6	**8.0%** (10.8%)	50	8	**16.0%** (13.1%)	59	8	**13.6%** (25.9%)
(参考)区外通園児	11	0	**0.0%** (0.0%)	8	0	**0.0%** (25.0%)	9	0	**0.0%** (33.3%)
合計 (R6 年度)	**4,019** (4,038)	**211** (262)	**5.3%** (6.5%)	**4,060** (4,116)	**430** (522)	**10.6%** (12.7%)	**4,157** (4,499)	**711** (870)	**17.1%** (19.3%)

ウ　むし歯がある子どもにおける未処置歯保有・処置完了の割合（年齢別・施設種別）

全ての年齢で、未処置のむし歯を有する子の割合が前年度より減少している。

※　認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計は含む）。

（図１３）施設種別等 むし歯がある子どもの割合（未処置歯有、処置完了者の割合）

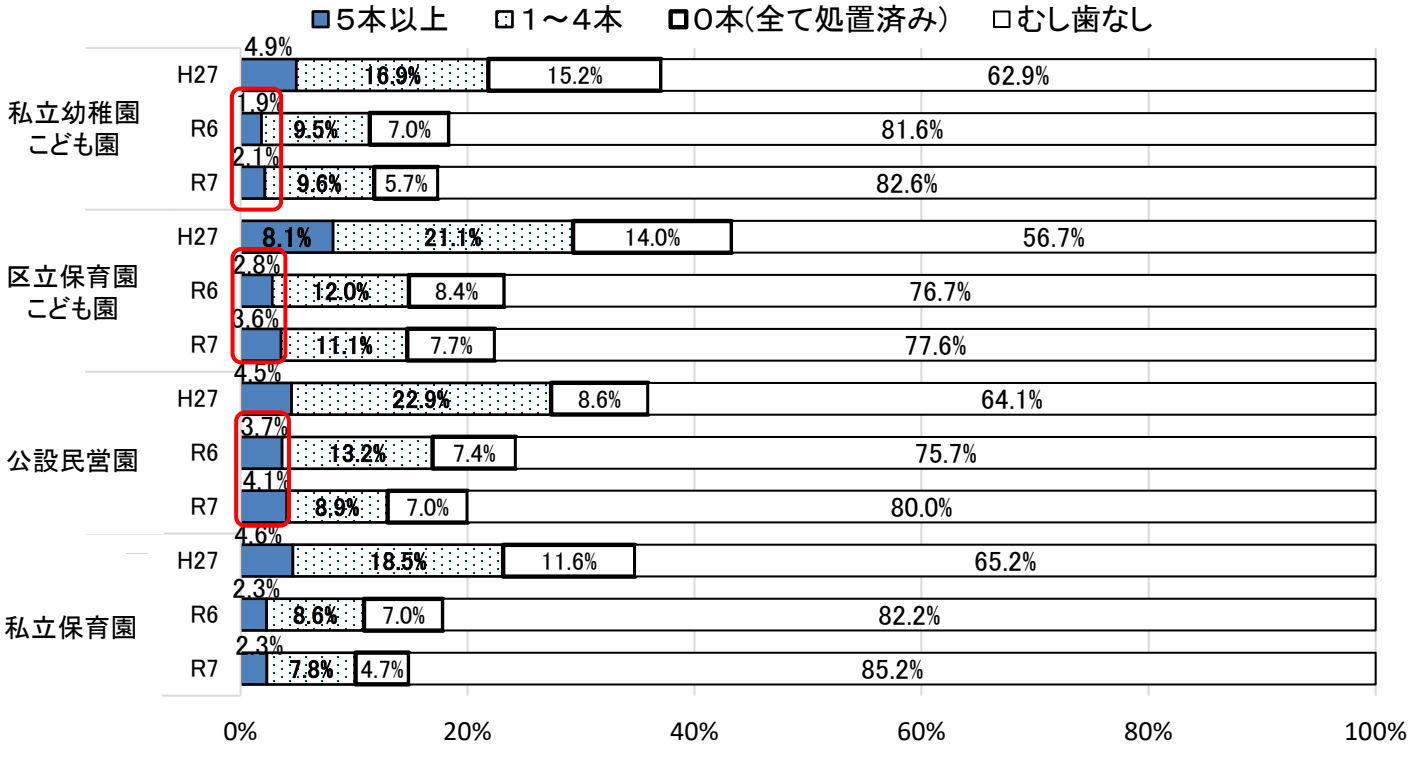


【参考】	処置完了率	年少	１．４％	年中	３．４％	年長　７．２％
６年度（合計）	未処置歯保有率	年少	５．１％	年中	９．３％	年長１２．１％

エ　施設種別・乳歯に５本以上未処置のむし歯をもつ年長児の割合

５本以上未処置のむし歯をもつ年長児の割合は、私立幼稚園、区立園、公設民営園で増加している。

（図１４）【年長】 施設種別･5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合(H27･R6･R7年度比)



オ　歯科受診報告書の提出状況【教育・保育施設からの集計報告による実績値】

歯科健診の結果、治療や相談が必要な子どもが歯科医療機関を受診した割合（受診報告書提出率）は、令和７年度７４．７％で、６年度を０．４ポイント下回った。なお、未通園児等は、保護者から区にハガキで報告する方法を採用している(※1)。

※1　未通園児等は、サンプル数が少ないため、参考値とする(合計には含む)。

（表９）

		年少児（４歳）		年中児（５歳）		年長児（６歳）		合計(人数)		
		発行数	報告数	発行数	報告数	発行数	報告数	発行数 (R6 年度)	報告数 (R6 年度)	**報告率** (R6 年度)
私立幼稚園 認定こども園		210	140	299	189	370	227	879 (891)	556 (569)	**63.3%** (63.9%)
区立保育園 認定こども園		69	55	103	86	123	95	295 (366)	236 (291)	**80.0%** (79.5%)
公設民営園		28	20	46	35	63	47	137 (152)	102 (116)	**74.5%** (76.3%)
私立保育園		185	154	238	196	322	289	745 (887)	639 (750)	**85.8%** (84.6%)
認証保育所		6	5	16	13	12	11	34 (44)	29 (32)	**85.3%** (72.7%)
未通園児等	未通園児 ※認可外等含む	11	10	17	12	17	13	45 (49)	35 (35)	**77.8%** (71.4%)
未通園児等	区外通園児	2	0	3	1	3	2	8 (10)	3 (8)	**37.5%** (80.0%)
合計 (R6 年度)		511 (568)	384 (434)	722 (768)	532 (579)	910 (1,063)	684 (788)	2,143 (2,399)	1,600 (1,801)	
報告率 (R6 年度)			**75.1%** (76.4%)		**73.7%** (75.4%)		**75.2%** (74.1%)			**74.7%** (75.1%)

2　あだちっ子歯科健診の概要

（1）目的

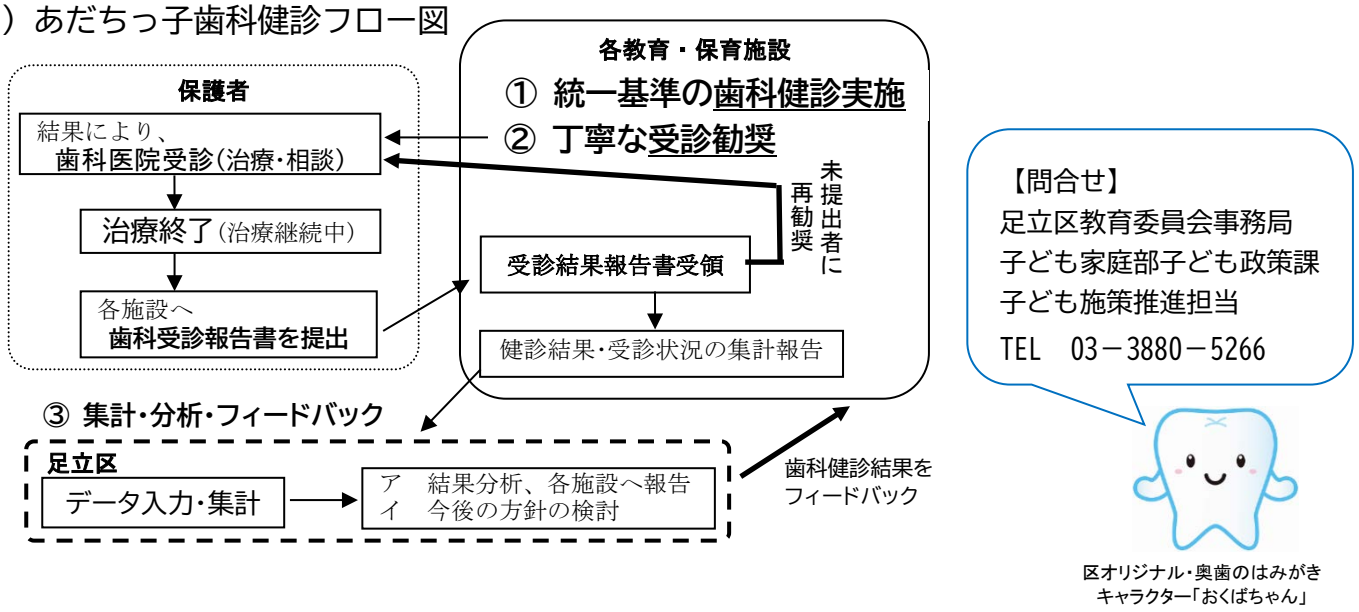
むし歯が増えやすい年少児(４歳)から年長児(６歳)を対象に、(公社)東京都足立区歯科医師会、教育・保育施設、区が連携し、**①統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③集計・分析・フィードバック**をセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施し、むし歯予防及び早期の治療に繋げる取組を進めている。

（2）対象者

通園の有無に関わらず、**全ての年少児(4歳)～年長児(6歳)**

※　区内教育・保育施設等においては、在籍する区外在住者も含めて実施

（3）あだちっ子歯科健診フロー図



区オリジナル・奥歯のはみがきキャラクター「おくばちゃん」